

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		防犯施設整備事業		事業区分			担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	040202000690	
		政策体系上の位置付け		単独/補助	単独	所属課	030401	
政策体系	総合計画の施策名	0402 防犯及び消費生活対策の推進		主要事業	対象外	グループ	生活安全課	
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト	対象外			
	施策名	02 防犯及び消費生活対策の推進		未来PJ事業	対象外	生活安全		
	基本事業名	02 防犯体制及び施設の充実		合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	01	14	01	00	防犯対策事業	
法令根拠				単年度繰返し (平成18年度～)				
				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市民が、安心して安全な生活を過ごせるため、また、地域の安全、犯罪未然防止するため、防犯灯及び防犯カメラを設置・整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置：区長からの申請により、必要箇所に設置する。 防犯灯の修繕：市管理防犯灯の修繕を行う。 防犯カメラの設置：要望等に対し、防犯カメラの設置を行う。 防犯カメラ保守点検：既存の防犯カメラの機能を維持するために保守点検を実施する。 	<p>【防犯灯、防犯カメラ設置工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯施設申請の受付 現地調査の実施 工事発注 工事完了検査 工事費の支払 <p>【防犯カメラ保守点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保守点検委託契約 保守点検費の支払

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
防犯灯工事、防犯カメラの保守点検		市管理防犯灯の設置数	基	267.00	272.00	277.00	282.00	285.00
		行政区管理防犯灯設置数	基	3,633.00	3,668.00	3,700.00	3,750.00	3,800.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民行政区		人口	人	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00	0.00
		行政区数	区	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
防犯上危険な場所を減らす。		市管理防犯灯の新規設置数	基	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		行政区管理防犯灯新規設置数	基	26.00	35.00	32.00	50.00	50.00
		防犯カメラの新規設置数		0.00	0.00	2.00	2.00	3.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,282	3,052	3,050	3,050
	事業費計(A)	千円	2,282	3,052	3,050	3,050	0
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	5.00人	3.00人	3.00人	0.00人
	述べ業務時間	時間	364.15	716.16	370.00	370.00	0.00
	人件費計(B)	千円	1,056	2,078	1,073	1,073	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,338	5,130	4,123	4,123	0

		28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
事業費の内訳	11 需用費	1,800					
	13 委託料	220					
	15 工事請負費	1,032					
		合計	3,052		合計	3,050	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	防犯施設整備事業	事務事業No.	40202000690	所属課	生活安全課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	地域安全のために合併前から、地域の要望により町・村で防犯灯設置していた。平成19年度に設置要綱を制定し、設置申請の方法、設置、管理の基準を定め統一し区長から推薦するようになった。平成26年度から新規防犯灯をLEDに統一した。近年犯罪の未然防止と犯人特定できる防犯カメラの需要が高まっている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地区より多くの設置申請があり、設置数に追いついていない状況である。 通学路の安全確保の観点から防犯灯設置の要望が増えている。 防犯カメラの犯罪抑止効果が高いことから、警察から設置要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	電気料金の引き下げ、維持管理費の減少を見据え、LED器具の付け替えを検討する。 市管理防犯灯をLED器具に変更する際のコスト面が課題であり、修繕時の付け替えを積極的に行う。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防犯灯を設置することにより、夜間くらいところが明るくなり防犯上、市民が安心して暮らせる環境づくりの政策体系に結びついている。
目的妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 防犯灯は道路に設置するため、歩行者や通学路、市民が利用するものであり公共性のあるため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市管理する防犯灯をLEDへ交換していき、維持管理の軽減を図る必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民が安心して暮らせる環境づくりの政策体系の公共性が高い事業のため、廃止・休止はない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 事業として独立しており、類似する事業、連携の可能性もない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 地区要望が、設置基数に追いついていない状況であり、事業費の削減はできない。事業費削減をするならば、抜本的な見直しが必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 道路へ防犯灯設置しており、市民及び道路利用者の安全確保であるため公正かつ公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 特別予算措置を行ったが、地区の要望が設置基数に追いついていない状況は変わらず、逆に増えている状況にある。抜本的な防犯施設整備の見直しが必要である。																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成28年行財政実施計画にも提案しており、平成30年度を目標に防犯施設整備事業を大きく変える予定で進めています。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>